

各事例の詳細について

平成 22 年 5 月 26 日
農 林 水 産 省

番号	確認場所	経営状態	飼育頭数	位置	経過等	検査結果 陽性 (26日判明)
210	児湯郡 川南町	酪農	96頭 (搾乳牛50頭 育成牛19頭 子牛27頭)	76例目の 農場から 北約100m	・5月24日、農場主から宮崎県に対し、飼養牛の鼻に水疱を確認したと届出 ・同日、立ち入り、1頭に流涎等を確認 ・翌日、検体を動物衛生研究所に送付	1頭
211	児湯郡 川南町	肉用牛繁殖	32頭 (繁殖牛16頭 育成牛1頭 子牛13頭 肥育牛2頭)	207例目の 農場から 東約200m	・5月25日、農協職員から宮崎県に対し、飼養牛に流涎等を確認したと届出 ・同日、立ち入り、3頭に流涎等を確認 ・同日、検体を動物衛生研究所に送付	3頭
212	児湯郡 都農町	肉用牛繁殖	当該農場118頭 (繁殖牛63頭 育成牛5頭 子牛50頭) 関連農場114頭 (肥育牛113頭 山羊1頭)	203例目の 農場から 南東約200m	・5月25日、獣医師から宮崎県に対し、飼養牛に流涎等を確認したと届出 ・同日、立ち入り、2頭に流涎等を確認 ・同日、検体を動物衛生研究所に送付 ・当該農場の飼養管理者が別の農場でも飼養管理を行っていたことから、別の農場の飼養牛・山羊全頭も疑似患畜とした。	2頭
213	児湯郡 高鍋町	養豚	525頭 (繁殖豚46頭 育成豚4頭 肥育豚416頭 子豚55頭 種雄豚4頭)	124例目の 農場から 南約100m	・5月25日、農場主から宮崎県に対し、飼養豚1頭の鼻に水疱等を確認したと届出 ・同日、立ち入り、1頭の鼻に水疱等を確認 ・同日、検体を動物衛生研究所に送付 (※5月22日、ワクチン接種)	3頭
214	児湯郡 川南町	養豚	1,139頭 (繁殖豚119頭 育成豚24頭 子豚985頭 種雄豚11頭)	102例目の 農場から 北東約400m	・5月25日、農協職員から宮崎県に対し、飼養豚1頭の蹄等に出血を確認したと届出 ・同日、立ち入り、飼養豚に水疱等を確認 ・同日、検体を動物衛生研究所に送付 (※5月24日、ワクチン接種)	2頭
215	児湯郡 川南町	養豚	80頭 (肥育豚80頭)	160例目の 農場から 西約200m	・5月25日、町役場職員から宮崎県に対し、飼養豚の蹄が赤い等の症状を確認したと届出 ・同日、立ち入り、鼻に水疱等を確認 ・同日、検体を動物衛生研究所に送付	3頭
216	児湯郡 高鍋町	肉用牛繁殖	2,317頭 (繁殖牛539頭 育成牛1,778頭)	157例目の 農場から 南西約450m	・5月25日、農場主から宮崎県に対し、飼養牛2頭に流涎等を確認したと届出 ・同日、立ち入り、流涎・口内のびらん等を確認 ・同日、検体を動物衛生研究所に送付 (※5月23日、ワクチン接種)	3頭
217	児湯郡 川南町	肉用牛繁殖	26頭 (繁殖牛14頭 育成牛1頭 子牛11頭)	209例目の 農場から 南約250m	・5月25日、町役場職員から宮崎県に対し、飼養牛に流涎等を確認したと届出 ・同日、立ち入り、流涎・口内のびらん等を確認 ・同日、検体を動物衛生研究所に送付	3頭
218	児湯郡 川南町	酪農	16頭 (搾乳牛9頭 育成牛3頭 子牛4頭)	74例目の 農場から 南東約100m	・5月25日、農場主から宮崎県に対し、飼養牛1頭に流涎等を確認したと届出 ・同日、立ち入り、数頭に流涎等を確認 ・同日、検体を動物衛生研究所に送付 (※5月24日、ワクチン接種)	2頭